

トウモロコシの芽がきれいに出そろいました

青空の下がとっても気持ちのいい季節、さわやかな風を感じながら草刈りをしたあとを歩くと、乾いた草のにおいがとってもいい香りです。5月は雨の日が多かったせいか、5月初めに種をまいたトウモロコシの芽が本当にきれいに出そろいました。大浦太ゴボウ、人参、大根、いつもは草の中に埋もれてしまうモロヘイヤの芽も、きれいに出そろっています。サツマイモの苗は5月末に植え付け終了。ハウスの中では、トマトやナス、ピーマンなどの苗が植え付けを待つばかりに大きくなってきています。

5月になって一斉に収穫が始まったのがスナックエンドウ。本当にわーっと採れ始めて、今、この時期だけの収穫です。さっとゆがいたのをザルに入れたまま、食卓の上に置いておくと、スナックエンドウ大好き!のタクト君が、知らない間にせっせとつまんで食べています。病気も出ずにこんなにたくさん採れたのは、これまでで初めてです。昨年の11月に種をまき、冬を越して約半年、この季節だけの旬の味を、どうぞしっかり味わってくださいね。

まさか、イノシシが…

ジャガイモ畑ではジャガイモの花が咲き始めていますが、今年は畑にイノシシが現れて、3か所に分けて植えているうちの1か所で、植えた種イモを掘り返して食べられてしまいました。これまでは山の上の畑にイノシシが来ることはなかったので、「まさか…」という感じです。うねに植えてあるジャガイモを、端から順に全部掘り返してありました。続けてまた来るようになっては困るので、畑のまわりの草を刈ったり、木を切ったり、夜にはローソクや明かりをつけてみたりしていますが、心配です。一度夕食後に、子どもたちと一緒に様子を見に行ったのですが、誰もいない真っ暗な夜の畑に、ポツリ、ポツリと炎が揺れる様子は、きれいでもあり、また、ちょっと不気味でもありました。

イノシシは思った以上に憶病で慎重だけど、いったん慣れてしまうと大胆で、パワーショベルのように自在に動く鼻、電気も容易に通さない剛毛、1mを楽々跳び越すジャンプ力…と、もっている身体能力をフルに発揮して目的に突き進むのだとか(「イノシシから田畑を守る おもしろ生態とかしこい防ぎ方」より)。あちこちの竹林でタケノコを食べられたという話も耳にします。うまく人とイノシシが共存できればいいのですが、これはなかなかむずかしい問題のようです。(tonchan とはしもっちゃん、畑の入口のところで子鹿に出会った!と言っていました)

一年分のタマネギの収穫が始まります

6月になると一年分のタマネギの収穫が始まります。お天気のいい日をねらって一斉に収穫しますので、一度畑に行ってみてほしいな…と願っている方は、ぜひこの機会に畑にお出かけくださいませ。スポスポ抜けるタマネギ採りに、小さな子どもたちも大喜びだと思います。どうぞお弁当を持って、のんびり、ゆっくり、畑の一日を楽しんでみてください。お会いできるのを楽しみにしています。

